



ヒストリー

幼少時代
小学生時の夢は、政治家になって「世界を平和にする」こと。

学生時代
高校から続けるラグビー。その熱意でW杯を地元・福岡に誘致。

銀行員時代
銀行員として地域の現場で、生きた経済や地域の実情を学ぶ。

政治家へ
30歳で県議会議員、40歳で衆議院議員となり実績を重ねる。

衆議院議員 おにき誠 プロフィール

- 昭和47年10月 福岡市生まれ
 - 田島小学校(城南区)卒
 - ラ・サール高校卒
 - 当仁中学校(中央区)卒
 - 九州大学法学部卒
- 平成7年～14年 西日本銀行(西日本シティ銀行) 渡辺通支店～大名支店
- 平成15年～24年 福岡県議会議員(3期10年)
- 平成24年12月 衆議院議員に初当選
- 平成26年12月 衆議院議員再選(2期目)
- 平成27年10月 環境大臣政務官就任
- 平成29年10月 衆議院議員再選(3期目)
- 令和2年10月 少子化対策特別委員会 副委員長
- 令和2年12月 「ひきこもり」の社会参画を考えるPT 幹事
- 令和3年1月 新型コロナウイルスに関するワクチン対策PT 委員
- 令和3年10月 防衛副大臣就任
衆議院議員再選(4期目)

自民党 新型コロナウイルスにともなう
あなたが使える緊急支援

新型コロナウイルスによる未曾有の国難から、あなたの暮らしを、雇用を、事業を、守り抜くために。スピード優先で次々と策定されている緊急経済支援策。その中から主なものを紹介します。

<https://www.jimin.jp/covid19/>

日々の活動をSNSで配信しています!
衆議院議員 おにき誠 後援会事務所

〒810-0014
福岡市中央区平尾2-3-15-2F
Tel. 092-707-1972
Fax. 092-707-1984
Mail: makoto@onikidon.com

おにき誠公式ホームページ
LINE公式アカウント
Facebook ページ
Twitter公式アカウント

おにき誠 新聞 No.16
2022年4月発行



防衛副大臣 おにき誠

国民の命と暮らしを守る

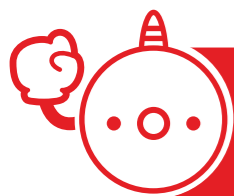
昨年10月の総選挙では多くの皆様のご支援をいただき、4期目の当選を果たすことができました。心から感謝申し上げます。

おかげさまで再び防衛副大臣に任命され、北朝鮮のミサイル対処やロシアによるウクライナ侵攻への対応に日夜奮闘しております。城南区の田島小学校に通っている頃に「平和な国を作る!」と政治を志したことを思うと、こうして国民の命と暮らしを守る仕事に携わらせていただいていることに深い感慨を覚えます。

防衛のみならず、コロナ禍からの経済復興や押し寄せる物価高などにも的確に対応すべく、日本そして地元福岡のためにしっかり働いてまいります。引き続きご声援のほど、よろしくお願いいたします。

衆議院議員 おにき誠

中面では防衛副大臣としての活動を紹介!!



防衛副大臣として ～国民の命 と暮らしを守る～

日本は国民の命を守れるの？



ロシアによるウクライナ侵攻、北朝鮮によるミサイル発射、中国による軍事力の強化…「日本は国民の命を守れるの？」と不安に思っている人も少なくないと思います。防衛の能力や運用は、その全貌が知られるとその隙間を突いてこられるため、なかなか詳細な情報を公開することができません。しかし国民の見えないところで、自衛隊は日々訓練に励み、365日警戒を怠りません。離島の奪還訓練やミサイル迎撃のためのシステム整備など、あらゆる危機に備えています。

日本を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中、新たな戦略3文書（国家安全保障戦略、防衛計画の大綱、中期防衛力整備計画）を策定することとしています。防衛予算を見直し、装備や防衛システムを充実させ、どんなことがあっても国民の命と暮らしを守る体制を整えます。

視察・訪問

硫黄島



大戦の激戦地・硫黄島を訪問し現地自衛隊を激励、戦うことの厳しさや平和の尊さを実感しました。

護衛艦命名式



新型護衛艦の命名式・進水式に出席、日本の海を守る最新の装備・態勢を整えています。

宇宙作戦群



宇宙はこれからの防衛に必須の新領域です。体制強化のため、宇宙作戦群を新たに編成しました。

空挺団降下訓練



第1空挺団を視察。地上11mからの跳び出し訓練に参加し、高所任務は命懸けだと感じました。

統合訓練



弾道ミサイル等による攻撃を想定した防空・ミサイル防衛訓練や、島嶼防衛を想定した水陸両用作戦などを視察しました。

各国大使との交流



コルスンスキー駐日ウクライナ大使はじめ、世界各国の大使や駐在武官との交流を進めています。

諸外国への対応

北朝鮮ミサイル対応



北朝鮮は本年に入ってから、新型ICBM級のものを含め、高い頻度で弾道ミサイルの発射を繰り返しています。これに対し日本は米国等と連携し、24時間切れ間なく警戒監視を行なっています。また弾道ミサイル防衛（BMD）システムを整備し、ミサイル迎撃能力を毎年向上させています。今後もあらゆる選択肢を検討し、国民の命と暮らしを守り抜きます。

ウクライナ支援



ロシアによるウクライナ侵攻は、多くの国民にとって他人事とは思えない衝撃だったのではないのでしょうか。ウクライナのために何かできないか？ そんな国民の思いに応え、防弾チョッキやヘルメット等自衛隊の装備などをウクライナへ提供しました。米国のエマニュエル大使やウクライナのセメニューク公使の立ち合いのもと、米軍機による輸送も行われました。

自衛隊ワクチン大規模接種



現場職員との意見交換や総理自身の3回目接種にも立ち会いました。おにき誠も東京会場で3回目の接種をしました。

岸田総理からの指示を受け、防衛省は自衛隊大規模接種会場を東京と大阪に設置しました。おにき誠は大規模接種推進本部の本部長として運営にあたり、全国の地方自治体の3回目接種の後押しをしています。岸田総理の会場視察では、

自衛隊女性活躍推進

おにき誠が本部長を務める防衛省女性職員活躍・ワークライフバランス推進本部では、積極的な採用・登用を図るとともに、本人の意欲と能力・適性に基づく適材適所の配置に努めながら、女性職員の活躍を推進するための様々な取り組みをしています。

